

JST紹介と特許技術概要

～科学技術の振興と社会的課題解決に向けて～

JSTの役割と主な活動

【JSTの役割】

- JSTは、日本の科学技術・イノベーション基本計画の中核的な役割を担う機関
- 科学技術の振興と社会的課題解決のため、国内外の大学や研究機関、産業界等と連携した多様な事業を総合的に実施し、社会の持続的な発展と科学技術・イノベーションの創出に貢献
- その活動の一つとして、日本の大学や研究機関で発明された技術を基に特許出願を行い、特許ライセンスを通じて特許技術の社会実装を行うことで、大学発明技術の社会での応用を推進

【主な活動】

- 大学ファンドによる世界レベルの研究基盤の構築
- 社会変革に資する研究開発戦略の立案と社会との共創
- 社会変革に資する研究開発による新たな価値創造の推進
- 新たな価値創造の源泉となる研究開発の推進
- 多様な人材の支援・育成
- 科学技術・イノベーション基盤の強化

【知財活用(例)】



ナノスーツ (ナノ重合膜)

【発明者】 針山 孝彦 (浜松医科大学)
【実施許諾先】 NanoSuit株式会社

- 産学が連携した研究開発成果の展開
- 知財活用の支援
- ベンチャー創出・支援
- 共創の『場』の形成支援

知財活用支援プロセス(例)



特許技術概要

【特許ポートフォリオ (バイオ・メディカル関連)】

- JSTの所有特許は約2,500件で、バイオ・メディカル関連特許は約550件
- 多くの特許は日本だけでなく、海外（米国、欧州、中国など）にも出願し、ライセンスを通じて世界市場で特許技術の社会実装ができるよう、様々な取り組みを実施中
- JSTの所有するバイオ・メディカル関連特許は、薬効成分 (API)、診断技術・装置、抗体医薬、ドラッグ・デリバリー・システム (DDS)、遺伝子治療など（下図参照）

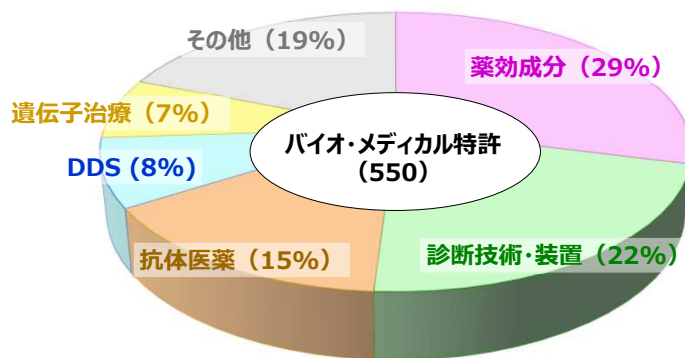


図. バイオ・メディカル関連特許ポートフォリオ

【特許例】

- 新規SN-38誘導体
- V-ATPase阻害剤
- PolyQ病用L-アルギニン
- 核酸結合性タンパク質
- 神経細胞ネットワークHTS装置
- 動的ネットワークバイオマーカー (DNB)
- スーパー抗体酵素
- 核酸医薬用DDSナノ粒子RION
- 生体粒子ボルト誘導体
- 薬物送達を可能にする微細藻類イデココゴメ
- 非ウイルス性遺伝子治療
- 双性イオン
- ZIC5阻害抗がん剤
- ナノプロドラッグ
- HMGB1阻害オリゴ核酸

連絡先

- JST知的財産マネジメント推進部 ライセンス担当
- 電話) 03-5214-8486
- メール) license@jst.go.jp
- URL) www.jst.go.jp/chizai/

